

# 城下町 ぶらっと散策マップ

**箱本十三町観光案内所**  
開所は火、木、土、日と祝日  
午前10時～午後3時  
電話 0743-55-7013

**永慶寺(黄檗宗) 弁天門**

ワキン、リウモン、デメキン、ランチュウ、テウテンガン、オラシシカシ、スイトウガン、シヨウゲン、テウレ

**S** 金魚資料館では色々な金魚に出会えます  
☆月曜日は休みです



羅城門跡  
土手を降りたところに  
石碑、説明板と  
P2台分あり  
この道は平城京の  
九条大路だった

元通り酒屋 中村邸

木造三階建  
町家物語館  
(旧川本邸)

阿礼祭 8月16日

☆この地図は2021年 2月調査に基づいて作成  
☆    で囲んだ町名が箱本十三町  
☆  は江戸時代から続く道 (道巾は変化あり)  
☆ お地藏さん 金魚屋 石碑 銀行  
☆ 地図内の記号と番号、イラストは裏面の説明を参照して下さい  
☆ 発行 (一社)大和郡山市観光協会  
0743-52-2010  
☆ 監修 みちしるべの会  
☆ 協力 大和郡山市観光ボランティアガイドクラブ



# 郡山城下町散策

## 箱本十三町のみどころ

郡山の名が文書で確認できるのは、応保2年(1162)の東大寺文書、しかしこの地には和銅3年(710)に平城京ができる前から菓草園(現在の魚・塩町あたり)を起点として人々が住み、村が形成されていました。その後、筒井順慶が大和を統一し、この地に郡山城を築き筒井から移り住んだとき本格的に城下町として整備されました。順慶没後、豊臣秀吉の弟、秀長がさらに大きく郡山城を築き直し、又、城下町も拡大されました。天正16年(1588)には、十三の町が出来上がりました。

茶町・雑穀町・藺町・綿町・豆腐町・紺屋町・材木町は、職業により集まった町  
堺町・奈良町・今井町は、商人の出身地ごとに集まった町  
魚塩町・本町・柳1~4丁目は、郡山に古くより住んでいた人たちの町

秀長は、十三の町が出来上がったとき、町の運営について制度を定めました。この制度が、明治維新まで続く城下町運営の基礎となった「箱本十三町」の制度です。十三の町は、免税(地租免除)とする代わりに一ヶ月の当番制の自治活動を行い、当番となった町は、特許状の入った「朱印箱」を置き「箱本」と染めた小旗を立て、城下町全体の「治安・消火・伝馬」の世話を行いました。

### 1 魚塩町(うおしおまち、現 魚町・塩町)

郡山では古い町の一つ。順慶が、筒井城下の商人を移し整備した町で魚や塩を扱う商人が集まっていた。

#### ㊦ 恵美須神社

由緒不詳、元和9年(1623)の鎮座とも。又、秀長公が商家の繁栄を祈願し建立したとも言われている。1月9~10日 十日エビス祭が賑やかに行われている。

### 2 本町(ほんまち)

道幅は他と比べて広く郡山の“もとまち”としての風格のある町。秀長の酒造保護政策により造り酒屋が集まっていた町で、1700年代後半に建てられた町屋が残されている。

- ㊧ 中村邸 屋号--セキヤ、1780年代の建物。
- ㊨ 吉岡邸 鬼瓦に天明9年(1789)の銘あり。「縦割三間取」と呼ばれる典型的な町屋。
- ㊩ 浅井邸 屋号--紅屋 間口7間 二列六室型。土間にシモミセがある。

#### ㊪ 大正の洋館・元 杉山小児科医院

大正10年頃の建物。奈良では数少ない大正時代の建物として貴重な存在。18世紀ヨーロッパの都市の民家風建築。平成18年(2006)登録有形文化財となる。

- ㊫ 火見櫓 貞享3年(1686)、町内4ヶ所に建てられた。現在、ここにモニュメントとして設置されている。

### 3 茶町

茶を扱う商人が住んでいた町。

#### ㊬ 良玄禅寺

本多忠勝の孫・政勝の菩提寺、臨済宗妙心寺末。本尊 釈迦如来像。芭蕉の句碑「時雨塚」がある。

### 4 雑穀町(ざこくまち)

穀物を扱う商人の住んでいた町。

### 5 奈良町

奈良から移住した人々が住んでいた町。

#### ㊭ 光慶寺

浄土真宗本願寺派。本尊 阿弥陀如来立像(室町初期)。平安時代に天台宗の皇慶寺として山城国に開かれたが豊臣秀長の時代に郡山に移る。現在の本堂は宝暦7年(1757)の再建。梵鐘は市指定文化財。平清盛直筆の赦免状が伝わる。

### 6 藺町(いのまち)

畳表などを扱う商工業者が住んでいた町。

#### 藺町線

郡山の町を南北に縦断する道路。城下町の町割りは大部分江戸時代のまま残されているが、「藺町線」は整備された道として郡山では貴重な存在となっている。

### 7 堺町

堺の商人を招いた町。

### 8 綿町

綿を扱う商人が住んでいた町。江戸時代初期から中期にかけて「郡山繰綿」の名を全国的に広め、一つの時代を築いた。

### 9 今井町

今井町(現、橿原市)から移住した人たちが住んでいた町。

#### ㊮ 修羅と石 展示場

平成29年(2017)のお城まつりで「修羅引き」が再現された。その時使われた「修羅」と「石」が展示されている。

### 10 豆腐町

豆腐製造業者が集まった町。現在は家屋も大半が建て替えられ静かな住宅地となっている。

#### ㊯ 箱本物語館

城下町の魅力を発信する一つの拠点として、豆腐町に平成28年(2016)1月オープンしました。

### 11 紺屋町

染物屋さんが集まっていた町。道筋の中央に水路が通り独特の雰囲気を出している。この水はお城の堀から流れ出ており、染めた布や糸を晒していた。

#### ㊰ 箱本館「紺屋」

現存する町屋では、市内最古の建物。明和年間(1764~1771)に建てられた。奥野氏が、代々染物屋を営んでいたが平成11年(1999)廃業、市が買い取り箱本館「紺屋」として再生した。平成12年(2000)4月開業。

### 12 材木町

材木を扱う商人が集まっていた町。

#### ㊱ 薬園八幡神社

創建は奈良時代。東大寺大仏建立の際、宇佐の八幡大神の分霊を祀った。続日本紀に「梨原の薬園新宮内(塩町あたり)に設けた神殿」とあるのが当社。室町時代に現地に移された。本殿は県指定文化財。

### 13 柳 1~4丁目

柳町は古くより住んでいた人々が集まって出来た町。高野街道に沿った町並みで今尚商店街として賑わっている。建屋はほとんど建て替えられたが道幅は当時のまま。

#### ㊲ 菊屋

創業400余年、現当主は26代目。秀長公の茶会に菓子を献上したという老舗の菓子屋。  
(現在の建物は、嘉永の大地震(1854年)で倒壊した後、まもなく再建された。)

#### ㊳ 南邸

「揚げ店(あげだな)」という古風な構えの残る建物。

#### ㊴ 和田徳 元呉服店

江戸時代から続く郡山屈指の元老舗呉服店。建物は明治時代に、浅沼組創業者の浅沼猪之吉が設計したもの。

#### ㊵ 郡山八幡神社

柳八幡とも言う。鎮座は室町時代か。郡山城鎮護の八幡宮として代々の城主の保護を受けた。

#### ㊶ 箱本十三町観光案内所(今井町)

大和郡山市観光ボランティアガイドが皆様のお越しをお待ちいたしております。

## 十三町 周辺のみどころ

#### A 羅城門跡

平城京の表玄関。外国の使節を迎えたり、遣唐使が旅立っていった。礎石は佐保川の河川敷きの下にある。晴れた日には朱雀門や大極殿がよく見える。

#### B 葉本邸

町屋の伝統的建築の特徴がよく残されている。平成14年(2002)登録有形文化財。

#### C 外堀緑地公園

平成9年(1997)に郡山城の外堀の一部を整備し公園にしたもの。 全長 580m  
市民の憩いの場として活用されている。

#### D 実相寺

浄土宗知恩院末。本尊 阿弥陀如来像。中井家(徳川家の大工の棟梁)の菩提寺。本堂内陣正面にある扁額は、柳澤二代藩主柳澤信鴻の書(市指定文化財)。鎌倉時代の十三重石塔、室町時代の石仏などがある。

#### E 洞泉寺町

表窓に細い格子が入った家並み、木造3階建てなど、花街の面影が残る町。

#### F 町家物語館

大正13年(1924)に建てられた。各部屋や廊下の窓に色々趣向を凝らし、欄間や建具を見るだけでも楽しい。木造三階建ての建築遺構として貴重なもの。平成26年(2014)登録有形文化財となる。

#### G 洞泉寺

浄土宗知恩院末。本尊の阿弥陀三尊は重文、別に五劫思惟の阿弥陀様も祀られている。開基 秀長公、開山 宝誉上人  
「あかがき地蔵」と「石の湯船」がある。

#### H 源九郎稻荷神社

古くは日本三大稻荷の一つ。義経が吉野に落ちのびた時、白狐が側室静を送り届けた話は有名。お城まつりの際「白狐渡御」の行事が行われる。

#### I 春岳院

大納言豊臣秀長の位牌菩提寺。秀長の位牌・肖像画、箱本制度の史料文献が残されている。

#### J 植槻(殖槻)八幡神社

鎮座年代は不明。奈良時代創建の植槻寺と関係があったものと思われる。

#### K 郡山城跡

復元された追手門、隅櫓、多間櫓などが往時を偲ばせる。天守台の石垣には、逆さ地蔵、羅城門の礎石など転用石が多い。県文化財指定、日本さくら名所100選、続日本百名城にも選ばれ、春にはお城まつりで賑わう。

#### L 柳沢文庫

昭和35年(1960)財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会として発足。柳澤家の史料や書物を保存、展示。一般に公開されている。

#### M 柳澤神社

本丸跡にあり、明治13年(1880)旧藩士達によって創建された。祭神は柳澤吉保公(吉里公の父)。

#### N 永慶寺

郡山藩主柳澤家の菩提寺。柳澤吉里公が甲府から国替えの時、当地に移築した。山門は、旧郡山城の城門を移築したもの。

#### O キリシタン殉難の碑

幕末の頃、郡山藩に預けられた浦上キリシタンのうち六教徒の碑。当初良玄禅寺(雲幻寺)にあったものを移した。

#### P 荒木又右衛門の屋敷跡

郡山城主松平忠明に仕えた剣豪。屋敷跡には、碑が建っている。

#### Q 大納言塚

紀伊・和泉・大和 百万石の郡山城主、大納言秀長の墓所。市文化財。毎年4月22日に墓前法要が営まれている。

#### R 新木山古墳(にぎやまこふん)

全長122.5mの前方後円墳。後円部67m・前方部75m。周囲に馬蹄形の堀を巡らしていた。陵墓参考地に指定されている。

#### S 金魚資料館

昭和57年(1982)、やまと錦魚園が自費で設立。金魚の古書・資料等の収集は貴重。現存する色々な種類の金魚が飼育展示されている。